



IDF PRESS RELEASE

Belfast, 30th October 2017

IDFプレスリリース

2017年10月30日、ベルファスト発

欧米の乳製品市場が国際乳製品市場を牽引

欧米の乳製品市場が国際乳製品市場を牽引していると、IDFワールドデーリーサミット2017ベルファストで聞いた

IDFはワールドデーリーサミット2017ベルファストを開催した。同サミットの世界の酪農情勢報告書は[IDFホームページ](#)からダウンロードできる。

IDF世界の酪農情勢報告書の編集主幹で、フランスの酪農乳業団体 CNIEL 経済部門長ヴェロニク・ピレー氏 Véronique Pilet は、「世界の乳製品市場は不透明さが持続しています。確実に言えることは価格流動性がまだ居座っていることです。」と述べた。

「欧米市場の躍動性が回復を牽引しています。向こう数か月の生産状況は明るさが持続しています。バターは空前の高価格にありますが、脱脂粉乳はまだ弱いです。」

ピレー氏は、今年の回復は、世界的な生産と消費の低迷が続き、若干の減少を示した地域もあった年度の後



で展開していると語った。この状況は、ロシアによるEUからの乳製品の禁輸措置、産油国の購買力低下や南米諸国の経済状況にも依ると言える。

ニュージーランドがこれまで同様、世界最大の乳製品輸出国として世界市場の29%を占め、EUの28%、米国の24%が続く。

総じて、2016年の生乳生産量は0.9%増加したが、2.0%増や近年のそれ以上の数字と対比される。



ピレー氏は、「いままでの歴史的な低迷状態は回復期間へ移っています。2017年の乳製品需要は前年よりも強含みで動いています。」と述べた。

世界の酪農状況2017の報告書全文は、[IDFホームページ](#)から入手できる。

翻訳：JIDF事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。